

## 国際化学肥料ニュース (2021年7月)

### 肥料業界の2021年7月動態

- \* モロッコ OCP 社がインドとブラジルとの間に2021年第3四半期の粗りん酸価格を決定した。国際りん酸とりん酸肥料の価格高騰を反映して、CFR インド 1160 ドル/トン、CFR ブラジル 1190~1240 ドル/トン (P2O5100%換算)、第2四半期より 162 ドル/トンの大幅値上げである。
  
- \* 7月13日、インド RCF 社が新しい尿素国際入札を発表した。締め切りと開札は7月22日、購買数量未定、8月31日まで船積みという条件付きである。これは今年インド5回目の尿素国際入札である。
  
- \* 中国税関の最新データによれば、2021年6月中国化学肥料輸出量が7.5%減の339万トン、その内訳は尿素48万トン(平均 FOB 価格 367.5 ドル/トン)、硫安70万トン(平均 FOB 価格 165.8 ドル/トン)、DAP91万トン(平均 FOB 価格 530 ドル/トン)、MAP57万トン(平均 FOB 価格 497.3 ドル/トン)。MAPを除き、ほかの種類は前月より減少したが、化学肥料の国際相場の高騰を反映して、輸出価格が大幅に上がった。  
一方、2021年6月中国化学肥料輸入量が9.0%減の61万トン、その内訳は塩化加里49万トン(平均 CFR 価格 248.5 ドル/トン)、NPK化成肥料10万トン(平均 CFR 価格 560.3 ドル/トン)である。塩化加里輸入量の減少が目立った。
  
- \* 中国税関の最新データによれば、2021年1~6月の中国化学肥料輸出量が36.1%増の1624万トン、金額が94.2%増の51.5億ドル。その内訳は尿素が40.9%増の242万トン(平均 FOB 価格 341.3 ドル/トン)、硫安が28%増の458万トン(平均 FOB 価格 157.2 ドル/トン)、DAPが58.4%増の322万トン(平均 FOB 価格 494.7 ドル/トン)、MAPが53.3%増の190万トン(平均 FOB 価格 460.5 ドル/トン)。  
2021年1~6月の化学肥料輸入量が8.8%増の530万トン、金額が2.8%減の14.1億ドル。その内訳は塩化加里が17.3%増の453万トン(平均 CFR 価格 231.6 ドル/トン)、NPK化成肥料が11.0%減の64万トン(平均 CFR 価格 468.8 ドル/トン)。
  
- \* 7月22日、インド RCF 社の尿素国際入札が開札された。12社入札、応札量が東海岸71.15万トン、西海岸93.965万トンの合計165.11万トン。最低応札価格はCFR東海岸509.5ドル/トン、前回の最低応札価格と同程度であるが、CFR西海岸516.95ドル/トンで、前回より15ドル/トンも上がった。東海岸向けの応札は主に中国尿素で、マレー

シアとインドネシア尿素も一部ある。西海岸向けの応札は主に中東尿素で、一部ロシアなどの東欧尿素もある。

2020年インドの尿素輸入量が約900万トン。今年の南西季節風（モンスーン）が多く雨量をもたらし、農作物の生育に適するため、昨年と同様の輸入量が期待される。6月末に行った計4回の尿素国際入札は約270万トンの尿素を契約したが、また600万トンの不足がある。

- \* 今年に入って、中国尿素とりん安の輸出量が急増した。1～6月の上半期では尿素輸出量が40.9%増、DAP輸出量が58.4%増、MAP輸出量が53.3%増で、国内供給量が減り、価格も大幅に吊り上げられた。中国政府は国内需要を確保するため、関係機関を通じて、各肥料メーカーに輸出を控えるよう要請した。国営企業をはじめ、一部のメーカーがすでに新規輸出案件の交渉を中止する動きがある。
  
- \* 7月28日、インドRCF社の尿素国際入札の契約数量が公表された。契約数量119.5万トン、そのうち中国尿素63万トン、残りは中東尿素である。ただし、中国政府から尿素、りん安（DAPとMAP）と塩化加里の輸出を控えようという要請があり、63万トンの中国尿素が輸出できるかは不明である。
  
- \* 尿素的の価格が転換期に差し掛かっている。中国国内の尿素需要が高値の影響で、ほとんどない。アメリカ、EU、トルコ、東南アジアも需要期を過ぎ、輸入に対する関心が薄くなってきた。7月最終週には尿素の主要輸出国のFOB価格が10～15ドル/トンも下がって、中東では約485ドル/トン、中国では約475ドル/トンであった。特にブラジルでは7月上旬にサプライヤーは8月の出荷でCFR520ドル/トンを目指していたが、7月末には逆にCFR481ドル/トンまで下がってきた。なお、8月のエジプト大粒尿素価格がFOB460ドル/トン未満を提示してきた。
  
- \* 7月下旬、中国政府の国家発展改革委員会が中国窒素肥料工業協会、中国りん酸肥料複合肥料工業協会、中国無機塩工業協会と一部大手肥料メーカーを招集して、肥料生産供給に関する会議を行った。中国政府は会議に於いて中国国内肥料市場の安定化を図り、肥料在庫貯め、価格の吊り上げ、値上げ情報の捏造と発信を禁じ、尿素、りん安（DAPとMAP）、塩化加里4種類化学肥料の輸出控えを要請した。7月30日、中国政府はその事実を発表した。  
一部の国営肥料メーカーと貿易商が中国政府の要請に応じて、新規輸出契約に関する商談を打ち切り、すでに契約したものに輸出量の削減とキャンセルの動きがあるが、民営企業にはまだ目立った動きが見られていない。

- \* 中国政府の市場監視管理総局は嘘な誇大広告と宣伝を行い、塩化加里などの化学肥料価格を吊り上げる疑いのある肥料メーカーと商社を立案調査することを発表した。これは先週中国政府が決めた国内化学肥料の価格安定と供給確保政策の一環である。

### 大手各社の営業業績

- \* 今年上半期の中国国内化学肥料価格の上昇と輸出の増加により、中国の株式市場に上場している7社の肥料会社が好業績を収めた。この7社が2020年の新型コロナウイルスの影響から抜き出し、速報では7社の合計純利益が100億人民元となる。（1人民元=17日本円）

窒素肥料メーカーでは、華昌化工社は純利益が6078~6771%増の8.5~9億人民元。華魯恒昇社は純利益が314~325%増の37.5~38.5億人民元。魯西化工社は純利益が1027~1072%増の25.5~26.5億人民元。

化成肥料メーカーの史丹利社は純利益が70~100%増の2.35~2.76億人民元。

りん酸肥料のメーカーでは、司爾特社は純利益が40~90%増の1.87~2.54億人民元。雲天化社は純利益15~16億人民元、昨年同期は2151万人民元の赤字であった。川発龍麟社は純利益が549~657%増の6~7億人民元。

### 肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- \* ロシアのAcron社はVeliky Novgorod工業団地にある6つの尿素ユニット中の1~4ユニットに9200万ドルを投資して、大規模な設備を増設して尿素生産量を2000トン/日から3100トン/日に引き上げ、年間39万トンの増産計画を始動させた。2024年に完成する予定である。完成すれば、Veliky Novgorod工業団地にあるAcron社の尿素生産能力が230万トンを超え、ヨーロッパ最大の尿素生産施設となる。
- \* オーストラリアのSalt Lake加里社は西オーストラリア州Wiluna地域にあるLake Way硫酸加里プロジェクトの加工工場が完成し、稼働し始めて、7月末~8月上旬から製品を出荷すると発表した。Lake Way硫酸加里プロジェクトが完成すれば、年間24.5万トン硫酸加里を生産することが出来るという。
- \* オーストラリアのKalium Lakes社は進行中の西オーストラリア州にあるBeyondie硫酸加里プロジェクトが最終段階に入り、9月下旬に最初の硫酸加里を出荷し始めると発表した。7月末現在、すでに硫酸加里11.3万トンを含む鹹水を汲み上げして、約9万トン硫酸加里を取得した。

### その他

- \* モロッコは世界最大規模のグリーンアンモニアプロジェクト **HEVO Ammonia Morocco** を発表した。このプロジェクトは、太陽光発電の電気を使い、電気分解で得た水素を原料にアンモニアを合成する。グリーン水素技術会社である **Fusion Fuel Green** と世界的な建設会社である **Consolidated Contractors Group SAL (CCC)** が共同で開発する。実現可能性を調査してから 2022 年着工する予定である。完成後、年間 31,000 トン水素を生成し、18,3000 トンアンモニアを生産する。
  
- \* ブラジルの **Amm Power Corp** 社はリオデジャネイロとの州境に近いブラジルのエスピリトサント州にあるポルトセントラルにグリーンアンモニアの生産施設、貯蔵、流通施設の建設に関する覚書を締結した。船舶輸送に使う燃料をグリーンアンモニアに変えるほか、肥料生産にも供給する予定という。
  
- \* 中国税関のデータによれば、2021 年 1~5 月中国の食糧輸入量が 50.6%増の 6667.5 万トンに達し、主にトウモロコシと小麦である。ほかに 1~5 月の食用油輸入量も 44.9%増の 477.8 万トンに上り、ともに新記録である。
  
- \* ノルウェーの **Yara** 社はブラジルの **Salitre** りん鉱山開発プロジェクトをロシアの **EuroChem** 社に 4.1 億ドルで売却することを発表した。**Salitre** りん鉱山はブラジル南東部のミナスジェライス州パトロシニオにあり、完成すれば、年間 100 万トンりん鉱石を採掘し、りん酸肥料の生産に供する計画である。2014 年、**Yara** 社は **Salitre** りん鉱山開発プロジェクトに参入したが、計画通りに進捗できず、新型コロナウイルスの影響もあり、リストラの一環として、売却を決めた。売却により、**Yara** 社が約 4 億ドルの損失を被る。
  
- \* オランダの **OCI NV** 社は子会社の **Fertiglobe** 社を通じて、アブダビ国営石油 (**ADNOC**) と提携し、日本の伊藤忠商事に肥料原料用のブルーアンモニアを初めて販売すると発表した。ブルーアンモニアとは、天然ガスなどの化石燃料から製造されたものであるが、製造時に排出される **CO2** を分離回収し、**EOR** (石油増進回収) や **CCU** (**CO2** 回収貯留) を利用することから、カーボンニュートラルなアンモニアである。